

私の担当する「地域おこし協力隊が行く！」もこれが最終回です。私の任期が3月末日を持って終了となるからです。地域おこし協力隊は総務省が統括する地域おこし活動の一環で、スタートは平成21年です。その時は全国で89人しかいませんでしたが、平成29年には約5千人の隊員が全国で活動しています。制度概要としては都市から過疎地域などの条件不利地域に住民票を移し、一定期間その土地に住み「地域協力活動」を行うことです。彼らには地元の人気がつかないその土地の良さを見る目があります。そしてそれを活性化させようとするエネルギーがあります。受け入れる町や自治体が彼らをうまく活かすことで化学反応が起き大きな成果を上げている町もあります。観光業務が私に与えられたミッションでしたが、観光については全くの素人でした。さらに雄武町での地域おこし協力隊一期生のため、そばに助言をしてもらえ、先輩隊員がいなかったため、暗中模索の状態でした。暗黒の状態でゼロからのスタートでした。自分の得意としているフィールドで業務を行いたいながら、春夏秋冬の行事のお手伝いをし、それを上手に情報発信していく作業が自分ができる仕事でした。この3年間で観光協会のウェブコンテンツは大幅に増えたと思いますし、ドローンを購入したことで

最後にありますが、3年間お世話になった雄武町の皆様、町内に残る同年代の友人たち、町長はじめ雄武町役場の皆様、各関係団体の皆様、高橋理事長はじめ観光協会の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 地域おこし協力隊が行く！

オホーツク管内ではなかなかの質の高さを誇っていると思います。コンテンツ制作は外注せず手作りです。お金をかけず協会の内で完結しているのも強みです。そして、最後の大きな仕事は雄武町内のおいしい食材を一つにまとめて購入できるインターネットサイトを立ち上げることです。現在ほぼ大枠ができており出品していただける商品も揃いつつあります。そこにアクセントを入れれば雄武のおいしいものが手に入る。普段の生活の食卓に雄武のおいしいものが並び、それが私からの、雄武が古里の方々また雄武のおいしい食べ物のファンの方々への恩返しと考えています。



地域おこし協力隊 佐藤 寧

## Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

# Everyone's infirmary

みんなの保健室  
子育ての相談をしてみませんか？

保健係では妊娠期から高校卒業まで、あらゆる年齢の子育てをサポートさせていただいています。小さめに生まれたお子さん、ことばの発達がゆっくりなお子さん、なかなか親の思うように動けないなどで、子育てが「ちょっとだけ大変だなあ」と感じている人は意外と多いです。中には、動きが大きくじっとしているのが苦手なお子さん、こだわりが強く切り替えが苦手なお子さんもいます。



子育てのポイントは・・・お子さんの『個性』に目を向け、その子の得意なことを活かして、自信を持てるよう環境を整えてあげることですが、正解がないうえ、人それぞれ違うため実際は難しいですね。お子さんの発達等について、大変だな、心配だなと感じたときは、一人で抱え込まずに保健係までご相談ください。

お子さんに合った子育て方法を一緒に考えてみましょう！

相談窓口 ～ 保健福祉課保健係（庁舎別館） ☎ 0158-84-2121



栗山 朔乙さん



池田 悠綺さん



渡邊 桜弥さん



高宮 凜子さん



グエンハーフォンさん



大井 陽奈さん

## 『リコーダーと私』

# Art Museum ②

小さな美術館 ～雄武小学校5年生～（3月現在）



小野 心波さん



平沼 明穂さん



小平 まりなさん



村田 恵都さん



渡邊 嬉乃さん



松田 結愛さん

小野さん「空の上でのおもちつき」  
平沼さん「神社」  
小平さん「魚のかぞくのさんぽ」  
村田さん「ぜんまいねずみをみつけたねこ」  
渡邊さん「一番さいごのいのしし」  
松田さん「お花とちょうちょ」

# Art Museum ①

小さな美術館 ～雄武小学校3年生～（3月現在）